

平成17年4月 1日から
平成18年3月31日まで

平成17年度(第59年度)
事業計画書・収支予算書

財団法人 三越厚生事業団

財団法人 三越厚生事業団 平成17年度(第59年度)事業計画書

はじめに

昨年から一部企業の業績回復など日本経済には幾分明るさが見えて参りましたが、依然として景気回復への確かな手応えを感じるまでには至っておりません。一方、国内外での自然災害の多発や緊張が続く国際情勢等我々を取り巻く環境も厳しさを増し、市民生活を支える公益法人やNPO法人等の重要性が世界中で注目を集めています。正に激動の時代であります。

そうした中、当財団にとりまして身近な問題であります公益法人制度改革や新公益法人会計基準の変更は、本年も急速な進展を見せております。その行方を慎重に見据えながら必要な対策を検討・整備しつつ本年度も更にガバナンス、コンプライアンスの強化に努め、広く社会に説明責任を果たし、財団運営の健全性・継続性により一層万全を期して参ります。

一方、事業活動におきましては、生活習慣病予防を使命として活動を行っております低額集団健診のより一層の先進化・高質化を更に進めて参ります。その一環と致しまして、本年度はヘリカルCTの本格稼働をはじめカラードップラー等検査機器の充実を図り、また、検査項目の見直しを行い、健診の質をより高めるよう努力して参ります。

また、保健衛生思想の普及活動も、社会的に健康への関心が高まる中、健康セミナーを中心に不特定多数の方々を対象として、生活習慣病予防の重要性について啓蒙を続けて参ります。健康セミナーは、都内各地の市民の皆様方へ積極的に情報を提供し、地域密着型の活動として今後とも広域的な展開を計画致しております。(本年度は、立川市、調布市、多摩市を予定)

医学研究助成につきましては、生活習慣病に関わる研究を中心として優れた研究が集まるよう募集活動も各種媒体を活用するなど更に拡大して参ります。

尚、これらの事業をより安定的・継続的に運営していくため公益事業基金を設け、当財団における公益性の高い事業活動に資するべく効率的運用を行って参ります。また、予算の執行に当たっては、抑えるところは抑え、拡大すべきところは拡大して、合理的な予算配分に努めて参ります。

職員一同、この点の認識を一にして、受益者の皆様方にとって本当にお役に立つことができる事業活動の推進に邁進していく決意であります。

本年も四半期レポートとして、四半期単位の事業報告並びに収支状況をお届けいたしますので、三越厚生事業団のホームページの情報と併せご覧いただき、活発なご意見をいただければ幸いです。

三越厚生事業団ホームページ

URL : <http://www.mhwf.or.jp>

E-mail : mhwf@f5.dion.ne.jp

寄附行為事項

< 事業の計画概要 >

- 1 生活習慣病の予防、診断、治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）
各部門のそれぞれの領域で、職員による課題研究を進めて4年目になります。その研究に関して外部医師も含めて厳正な審査を行い、発表方法、研究論文等を評価し、以って職員の知識、技術の向上に資すると共に、その成果を積極的に広める活動を強化する。

（1）事業団職員の研究活動（年間、場所は施設内を予定）

前年度研究各部門発表会と審査及び本年度研究テーマ決定（4月）

研究予算決定（4月）

プロGRESSレポート提出（12月）

その他、学会発表、講演会、論文発表など（随時）

- 2 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）
早期発見、早期治療は勿論のこと、予防及び健康の保持増進策の重要性が叫ばれ、関心を集めています。それに応えるべく、新しい検査機器の導入や検査項目の充実を実施しより精度の高い健診を目指します。また社会福祉施設への無料巡回健診や健保組合を中心に情報交換の場として健診報告懇話会を実施し、地域・職域に於ける健康保持増進推進に積極的に取組んで参ります。

（1）低額集団健診事業（年間）

健診の精度をより高めるため、頸部動脈エコー、カラードップラー等検査機器の充実を図り、オプション検査項目も増やし受診者のニーズに幅広く応えられる態勢を本格的に稼働させます。（4月予定）

また、生活習慣改善のフォローアップ施策の一環として、栄養相談や生活習慣病に関する相談事業も積極的に行います。

（2）健診報告懇話会（12月予定、場所未定）

各健診受託先との間で、健診結果を基に健康管理責任者と懇話会の実施結果報告と対応策及び次年度の健診方針の説明と確認

（3）無料巡回健診（6月～7月予定、延べ9日間、場所各施設）

施設：多摩同胞会信愛緑苑、同信愛和泉苑（府中市）

滝乃川学園成人部、同児童部（国立市）

至誠ホーム（立川市）

聖明園寿荘、同曙荘、同富士見荘（青梅市）

正夢の会パサージュいなぎ（稲城市）

軽費老人ホームサンホーム、光園（東村山市）

健診数：延べ2200名

検査項目：血液検査、胸部X線撮影、心電図

その他：医師、保健師による報告会議（7、8月予定、場所は各施設）

- 3 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）
生活習慣病をテーマに課題を設定して公募により行う医学研究助成と、海外留学を希望し
受入先が決定している者への渡航費の助成を行う事業。

（1）医学研究助成（6月公募、8月締め切り、11月決定、12月助成予定）

生活習慣病の課題を設定し、地域を東京都に限定した助成事業。

人数の限度、一件当たり限度額等特になし 総額 1500万円

（2）海外渡航費助成（6月公募、8月締め切り、11月決定、12月助成予定）

最大6名、一件 50万円 総額 300万円

- 4 健康の保持増進のための援助事業（同条第4号事業）

ますます重要性を増している健康の保持増進に関する事業の促進や底辺の拡大等を目指し
て援助する事業として、対象を青少年や老人、盲人、施設等の恵まれない人々の主にスポ
ーツやウォーキング、レクリエーションに対して行う援助事業。

（1）援助事業（各大会開催月に実施）

東京都児童福祉施設競技大会

主 催：社会福祉法人東京都社会福祉施設協議会

競技種目：ドッチボール大会、バレーボール大会、野球大会（7月予定）

参加人員：ドッチボール大会 約20施設 約500名予定

バレーボール大会 約15施設 約250名予定

野球大会 約15施設 約350名予定

場 所：ドッチボール・バレーボール大会 東京体育館

野球大会 三鷹市大沢総合グラウンド（予定）

援助内容：各競技用具及び参加賞等の援助

三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会（2月予定）

主 催：三多摩児童養護施設長会及び社会福祉法人東京都福祉協議会児童部会

競技種目：学年別 駅伝、マラソン大会

参加人員：約13施設 約500名予定

場 所：国営昭和記念公園（予定）

援助内容：大会記念タオルの援助

その他協力

日本万歩クラブ（ウォーキングの普及、当診療所の受診者の健康増進指導）

聖明福祉協会（盲老人、虚弱高齢者の方々の健康促進）

財団法人がんの子供を守る会（小児がん撲滅運動への援助）

5 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

生活習慣病の克服と豊かで健康な生活の実現を目指して、様々な機会を通して保健衛生思想の普及をはかる事業で、特に講演や映像による啓蒙、普及活動を強化する。

（1）健康セミナーの開催（年間7回予定）

「生活習慣病から身を守るには」をテーマに講演会を開催、同時に健康相談等を含む質問を受け回答するほか、ホームページでのフォローも実施する。

400人 500人規模のセミナーを4回予定。会場は三越劇場、京王プラザホテルを予定。

150～300人規模の地域密着型健康セミナーを3回予定。会場は立川市中央公民館、調布市グリーンホール、多摩センター三越を予定。

（2）広報活動（9月、2月予定）

厚生労働省の健康キャンペーンと共に、生活習慣病予防の重要性をテーマにした映像（30秒）を放映し、保健衛生思想の普及に貢献する。

日本最大の歩行者の通行量を持つ新宿東口アルタビジョンと銀座三越アルタビジョンを利用し、同時に9月、2月の2ヶ月間に亘って連日、1時間毎に放映予定。

6 診療施設の設置運営（同条第6号事業）

健診の適切な指導及び臨床経験による医療の知識と技術の向上に留まらず日常の診療を充実させ、地域の住民や、勤労者の便宜をはかることを目的に運営。

（1）診療事業（収益事業）

低額集団健診事業と緊密な連携をとり、健診結果に万全を期すと共に、一般外来患者に対し内科、小外科、婦人科の診療事業を行う。

診療日も祝祭日と日曜日を除いて開業し、地域の利便性に供している。

< 公益事業と附帯診療事業との関係 >

本財団は公益事業として様々な事業を展開しておりますが、とりわけ予防医学的見地や健康の保持増進の見地から生活習慣病健診、無料巡回健診、健康セミナーの開催などを実施しており、そのために医師はじめ医療技術者など多くの職員を確保しております。これらの公益事業を担う職員にとって、研究活動を行うと同時に臨床経験を積み重ねることにより、常に医療における知識と技術の向上に努める必要性があります。その意味でも寄附行為第4条6号にあるように、診療施設の運営に関してこれらの職員を活用し、健診結果によって適切な治療や専門医紹介等を行い、研究活動に留まらず、日常の診療を充実し、都心に戻りつつある地域の居住者や企業勤務者の便宜に供する診療所を運営しております。

管理・運営事項

1 理事会・評議員会の開催

(1) 評議員会

- | | |
|-----|--|
| 開催日 | 平成17年5月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.平成16年度事業報告及び収支決算の審議について
2.その他 |
| 開催日 | 平成17年11月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.事業活動報告
2.平成17年度医学研究助成並びに海外留学渡航費助成実施の件 |
| 開催日 | 平成18年3月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.平成18年度事業計画及び収支予算の審議について
2.その他 |

(2) 理事会

- | | |
|-----|--|
| 開催日 | 平成17年5月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.平成16年度事業報告及び収支決算の承認について
2.その他 |
| 開催日 | 平成17年11月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.事業活動報告
2.平成17年度医学研究助成並びに海外留学渡航費助成実施の件 |
| 開催日 | 平成18年3月 |
| 場所 | 株式会社三越本社会議室 |
| 議題 | 1.平成18年度事業計画及び収支予算の承認について
2.その他 |

2 登記事項

資産総額登記 平成17年5月

3 報告事項

毎四半期の事業報告を6月・9月・12月の3回、理事・監事・評議員全員に送付し、意見・提案等を頂き事業活動に反映する。

収支予算書総括表

平成17年4月 1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

大科目	合計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
財産運用収入	120,600	120,600	0	0
事業収入	603,000	385,000	218,000	0
低額集団健診事業収入等	385,000	385,000	0	0
診療事業収入	218,000	0	218,000	0
雑収入	39,500	38,000	1,500	0
特定預金取崩収入	21,000	21,000	0	0
繰入金収入	0	0	0	0
当期収入合計 (A)	784,100	564,600	219,500	0
前期繰越収支差額	502,050	310,534	191,516	0
収入合計 (B)	1,286,150	875,134	411,016	0

支出の部

大科目	合計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
事業費	763,490	543,990	219,500	0
低額集団健診事業費等	543,990	543,990	0	0
診療事業費	219,500	0	219,500	0
管理費	125,510	125,510	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0
特定預金支出	21,000	21,000	0	0
繰入金支出	0	0	0	0
法人税等	0	0	0	0
予備費	184,634	184,634	0	0
当期支出合計 (C)	1,094,634	875,134	219,500	0
当期収支差額 (A) - (C)	310,534	310,534	0	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	191,516	0	191,516	0

注記事項

1. 借入金限度額 300,000千円

平成17年度収支予算書 (一般会計)

平成17年4月 1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大 科 目	中 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
基本財産運用収入		120,600	120,620	20	
	基本財産配当収入	120,600	120,600	0	
	基本財産利息収入	0	20	20	
事業収入		385,000	400,000	15,000	
	低額集団健診事業収入	385,000	400,000	15,000	
雑収入		38,000	40,500	2,500	
	受 取 利 息	38,000	40,000	2,000	
	雑 収 入	0	500	500	
特定預金取崩収入		21,000	5,000	16,000	
	退職給与引当預金取崩収入	20,000	5,000	15,000	
	減価償却引当預金取崩収入	1,000	0	1,000	
繰入金収入		0	118,974	118,974	
	繰 入 金 収 入	0	118,974	118,974	
当 期 収 入 合 計 (A)		564,600	685,094	120,494	
前 期 繰 越 収 支 差 額		310,534	605,044	294,510	
収 入 合 計 (B)		875,134	1,290,138	415,004	

支出の部

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目・中科目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
1 事業費		543,990	538,450	5,540	
1 研究事業費		11,620	12,260	640	
	研 究 費	5,000	5,000	0	
	学 会 費	2,000	2,000	0	
	諸 会 費	1,200	1,200	0	
	旅 費 交 通 費	1,500	1,500	0	
	研 修 会 謝 礼 金	300	300	0	
	通 信 費	60	60	0	
	消 耗 品 費	10	100	90	
	印 刷 製 本 費	50	100	50	

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目・中科目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
2 予防及び健康 保持増進事業費	図 書 購 入 費	1,000	1,000	0	
	雑 費	500	1,000	500	
		481,360	474,900	6,460	
	(低額集団健診事業費)	468,750	462,200	6,550	
	給 料	118,000	120,000	2,000	
	手 当	52,000	50,000	2,000	
	退 職 金	20,000	5,000	15,000	
	福 利 厚 生 費	27,000	27,000	0	
	旅 費 交 通 費	5,000	5,000	0	
	臨 時 雇 賃 金	20,000	20,700	700	
	通 信 費	2,700	2,500	200	
	什 器 備 品 費	500	500	0	
	機 器 リ ー 入 料	46,000	45,000	1,000	
	検 査 ・ 材 料 費	52,000	52,000	0	
	消 耗 品 費	10,000	8,700	1,300	
	修 繕 費	15,000	10,000	5,000	
	印 刷 製 本 費	5,000	5,000	0	
	水 道 光 熱 費	4,500	4,000	500	
	借 室 料	52,920	68,500	15,580	
	火 災 保 険 料	50	100	50	
	租 税 公 課	13,000	13,000	0	
	共 益 費	16,980	17,100	120	
	清 掃 費	1,100	1,100	0	
	雑 費	7,000	7,000	0	
	(健診報告懇話会)	1,200	1,000	200	
	会 場 費	900	700	200	
	講 演 謝 礼 金	50	50	0	
交 通 費	10	20	10		
通 信 費	40	30	10		
雑 費	200	200	0		
(巡回無料健診)	11,410	11,700	290		
旅 費 交 通 費	100	100	0		
臨 時 雇 賃 金	200	300	100		
通 信 費	10	0	10		
検 査 ・ 材 料 費	10,500	11,000	500		
雑 費	600	300	300		
3 助成事業		19,780	19,940	160	
医 学 研 究 助 成 金		15,000	15,000	0	
渡 航 助 成 金		3,000	3,000	0	
助 成 金 選 考 謝 礼 金		1,000	1,000	0	
旅 費 交 通 費		20	100	80	
印 刷 製 本 費		200	300	100	
通 信 費		60	40	20	
雑 費		500	500	0	

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目・中科目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
4	健康保持増進 援助事業	2,630	4,150	1,520	
	援助費	1,100	1,100	0	
	協賛援助費	1,500	3,000	1,500	
	旅費交通費	10	0	10	
	雑費	20	50	30	
5	保健衛生思想 普及事業	28,600	27,200	1,400	
	セミナー費	19,000	15,000	4,000	
	広報費	7,500	7,500	0	
	通信費	300	300	0	
	印刷製本費	1,500	4,000	2,500	
	雑費	300	400	100	
2	管 理 費	125,510	147,800	22,290	
	役員報酬	31,000	32,000	1,000	
	給当料	20,000	25,000	5,000	
	手当	10,500	13,000	2,500	
	退職金	0	1,000	1,000	
	福利厚生費	7,500	10,000	2,500	
	旅費交通費	1,700	2,500	800	
	臨時雇賃金	100	500	400	
	会議費	600	1,500	900	
	交通費	1,300	1,500	200	
	通信費	500	800	300	
	什器備品費	100	100	0	
	機器リース料	2,500	2,500	0	
	消耗品費	1,000	1,000	0	
	修繕費	1,000	1,500	500	
	印刷製本費	1,000	1,000	0	
	水道光熱費	1,500	1,000	500	
	借室料	28,800	38,000	9,200	
	火災保険料	50	100	50	
	租税公課	1,000	1,000	0	
	共益費	8,500	5,500	3,000	
	清掃費	160	300	140	
	雑費	6,700	8,000	1,300	
3	固定資産取得支出	0	0	0	
	建物造作	0	0	0	
	建物附属設備	0	0	0	
4	特定預金支出	21,000	255,000	234,000	
1	特定預金支出	20,000	5,000	15,000	
	退職給与引当預金支出	1,000	0	1,000	
2	公益事業基金支出	0	50,000	50,000	
	生活習慣病予防事業基金支出	0	100,000	100,000	
	医学研究・海外留学渡航費	0	100,000	100,000	
	助成事業基金支出	0	100,000	100,000	
	保健衛生思想普及事業基金支出	0	100,000	100,000	
5	予 備 費	184,634	229,914	45,280	
	予 備 費	184,634	229,914	45,280	
当期支出合計 (C)		875,134	1,171,164	296,030	
当期収支差額 (A)-(C)		310,534	486,070	175,536	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		0	118,974	118,974	

平成17年度収支予算書 (診療事業特別会計)

平成17年4月 1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		予 算 額			備 考
大 科 目	中 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
事 業 収 入 雑 収 入	診 療 報 酬	218,000	223,000	5,000	
	雑 収 入	1,500	1,500	0	
当 期 収 入 合 計 (A)		219,500	224,500	5,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額		191,516	322,341	130,825	
収 入 合 計 (B)		411,016	546,841	135,825	

支出の部

勘定科目		予 算 額			備 考
大 科 目・中 科 目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
診 療 事 業 費		219,500	224,500	5,000	
	給 料	70,000	62,000	8,000	
	手 当	28,000	27,000	1,000	
	退 職 金	1,000	7,000	6,000	
	福 利 厚 生 費	13,500	15,000	1,500	
	旅 費 交 通 費	2,000	2,000	0	
	臨 時 雇 賃 金	16,500	10,000	6,500	
	通 信 費	340	300	40	
	什 器 備 品 費	300	1,000	700	
	機 器 リ ー 入 料	10,000	10,050	50	
	検 査 ・ 材 料 費	18,000	20,000	2,000	
	薬 品 費	8,000	8,000	0	
	消 耗 品 費	2,800	3,000	200	
	修 繕 費	3,000	3,000	0	
	印 刷 製 本 費	2,000	2,000	0	
	水 道 光 熱 費	2,500	2,500	0	
	租 税 公 課	3,300	3,300	0	
	借 室 料	25,370	32,500	7,130	
	火 災 保 険 料	50	0	50	
	共 益 費	8,140	11,150	3,010	
	清 掃 費	700	700	0	
	雑 費	4,000	4,000	0	
繰入金支出		0	118,974	118,974	
	繰 入 金 支 出	0	118,974	118,974	
法人税等		0	0	0	
	法 人 税 ・ 都 民 税	0	0	0	
当 期 支 出 合 計 (C)		219,500	343,474	123,974	
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)		0	118,974	118,974	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B) - (C)		191,516	203,367	11,851	